

一般社団法人鹿児島県サッカー協会の新たなマーケティング取組みについて

鹿児島県では幼児からシニアまで、年間約 60 以上（※別紙参照）もの鹿児島県サッカー協会主催大会が県内各地で開催されており、県人口から勘案してもサッカー人口比率は非常に高いものになっています。

一般社団法人鹿児島県サッカー協会（以下：KFA）はその大会の企画、運営を行っており、大会にかかる運営費のほとんどはKFAが負担しています。

KFAの主な収入源として、公益財団法人日本サッカー協会（以下：JFA）からの一括補助金と県内の少年団や、中・高・大学・クラブチーム・社会人チーム、選手の登録料で構成されており、その収入源の中で上記大会の運営や審判員の派遣等を行っております。

KFAが直面している課題として、少子高齢化が進んでいる昨今、鹿児島県も例外ではなく県人口減少と比例して競技人口は減少する事が予測され、収入源でもある、登録料の減少、またJFAからの補助金も現状を維持出来るかも不透明となっており確実な収入の減少が予想され、今まで行われていた県内サッカー大会の維持が難しくなる可能性があります。

九州の中で鹿児島県は福岡県、熊本県に次ぐ 3 番目の登録数にもかかわらず、財政規模としては九州内 5 番目に位置しています。

今後の鹿児島県のサッカー発展のためにレベルの高い大会を継続的に開催すること、地域の方々により認知していただく事をKFAは目標としており、そのためには補助金や登録料以外の収入の調達が必要になります。

そこで、KFAでは企業と共に鹿児島県サッカーの発展と認知向上を目指して、一般企業と連携し、メディアを通して各大会に企業協賛への呼び掛けやKFAのロゴを使用したオリジナルグッズの制作・販売を行い県内だけではなく県外も含めたマーケティングに取り組んで参ります。

具体的企画は下記の通りです

- 各大会への協賛の募集及び、大会でのサンプリングや物販
- KFA ロゴデータを使用したオリジナルグッズの制作、販売
- KFA ホームページ等 その他コンテンツ